

「広域最終処分場」の整備に向けて①

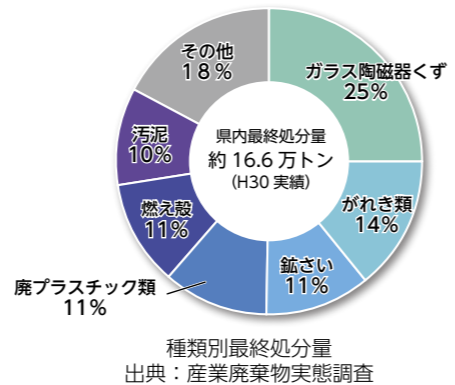
●産業廃棄物最終処分場とは

産業廃棄物とは、建設現場や製造工場、農業などの事業活動に伴い発生する廃棄物です。ほとんどはリサイクルされますが、どうしても最終処分(埋立)しなければならないものがあります。

県内に最終処分場がないと、産業廃棄物を県外に運搬しなければならず、処分費用が高額になり、県内産業の競争力低下につながる恐れがあります。また、災害時に発生した廃棄物の処分先としても、一定の容量を確保しておくことが重要です。最終処分場は、県内の産業活動や住民生活を支える施設です。

●なぜ県が整備をすすめるのか

産業廃棄物処理は排出事業者の責任とされていますが、民間による最終処分場の整備は進んでいません。安定的な処分容量の確保のため、県は公共関与による産業廃棄物最終処分場を上・中・下越地区において整備する方針です。中越地区では、平成11年に「エコパークいずもざき」が供用開始されました。計画では令和13年度までの供用を見込んでおり、次期処分場として上越地区での整備に向けた取り組みを進めています。



「エコパークいずもざき」第三期処分場

整備に関する問合せ…新潟県環境局資源循環推進課 (☎025-280-5161)、

上越分室 (☎025-520-7859)

記事に関する問合せ…生活環境課 (☎025-520-2088)

新潟県
ホームページ



市政トピックス

「市民と市長との対話集会」を中学校区ごとに開催します

開催日時・会場	対象中学校区	申し込み期間	申し込み先
7月22日(金) 午後6時30分～8時 谷浜・桑取地区公民館	潮陵中学校区	6月24日(金)～7月11日(日)	広報対話課 (☎025-520-5615)
7月24日(日) 午前10時～11時30分 吉川コミュニティプラザ	吉川中学校区		吉川区総合事務所 (☎025-548-2311)
8月1日(日) 午後6時30分～8時 福祉交流プラザ	城西中学校区	7月4日(日)～21日(金)	広報対話課 (☎025-520-5615)
8月8日(日) 午後6時30分～8時 カルチャーセンター	直江津東中学校区	7月11日(日)～28日(金)	広報対話課 (☎025-520-5615)
8月23日(土) 午後6時30分～8時 浦川原地区公民館	浦川原中学校区	7月22日(金)～8月8日(日)	浦川原区総合事務所 (☎025-599-2301)
8月26日(金) 午後6時30分～8時 柿崎コミュニティプラザ	柿崎中学校区	7月27日(土)～8月12日(金)	柿崎区総合事務所 (☎025-536-2211)

- ・1会場につき20人程度でフリートークを行います。お住まいの中学校区の会場にご参加ください。
- ・参加は事前申込制です。申し込み期間中にご連絡いただくか、市ホームページから申し込んでください。

●今後の開催予定(中学校区) ※日程が決まり次第、お知らせします
10月：板倉中、名立中、雄志中、八千浦中、直江津中



市ホームページ



浦川原区 近藤 好幸 推進員

中山間地域の暮らしを守り、活力の維持・向上を図るため、さまざまな支援を行う「集落づくり推進員」。今回は浦川原区の近藤推進員を紹介します。

—どんな活動をされていますか？
毎月、担当する14集落155世帯の戸別訪問を行っています。また、集落行事(お楽しみ集会、お祭り、農道の草刈り、塞ノ神など)への参加を通じて集落の人との交流を深め、信頼関係づくりに努めるとともに、そのような交流を自分自身も楽しみながら活動しています。

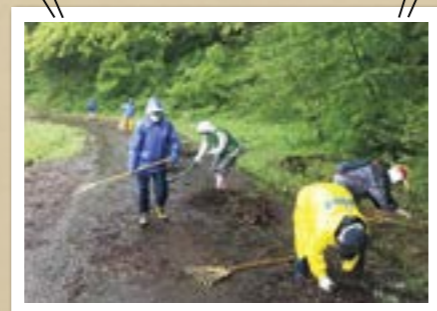
—活動の中で感じていることは？
担当集落や世帯数が少ないため、戸別訪問に力を入れ、各世帯の現状をつぶさに把握できるように努めています。集落を訪問した際や集落の行事に参加したとき、集

落の人から掛けていただく「久しぶり。元気かね」、「お茶でも飲んでいきなさい」などの言葉は、私自身の心身を癒してくれますし、心から温かさを感じています。

一方で、過疎化や高齢化が進むにつれ、空き家が増えている現状に、私自身も何とも言えない寂しさを感じることがあります。

—今後の目標を教えてください
中山間地域の暮らしは、今後、ますます厳しくなると予想されますが、そのような中でも、集落の皆さんに寄り添い、皆さんが笑顔で元気に暮らしていけるように、支援をしていきたいと思っています。

雨の中行われた集落の共同作業へも参加しました！



集落づくり推進員通信



市ホームページ



上越市・長野市経済交流懇談会 5/16

両市が連携して地域活性化に取り組むため、中川市長や長野市の荻原市長をはじめ、上越、長野の商工会議所の役員などが一堂に会し、観光やビジネス分野などについて情報交換を行いました。

出席した中川市長は、「長引くコロナ禍の中で、ようやく観光などでは人の動きが見られ始めたが、まだまだ厳しい状況にある地域経済を活性化させるため、両市がこれまで築いてきた強い絆を生かし、より連携を強めていく必要がある」と話しました。

令和4年度 市町村長の災害対応力強化のための研修 5/27

近年、頻発・激甚化している災害への対応を見据え、災害対応力の強化を図ることを目的とした消防庁が主催するオンライン研修に中川市長が参加しました。

研修は、消防庁の嘱託指導員との1対1の対話形式により行われ、風水害をテーマとした実践的なシミュレーションを通じて、避難指示などの発令判断と伝達や、災害関連死の防止に主眼を置いた避難所の設置・運営など、実際に起こり得る災害時の重要な各局面での判断・指示について確認しました。

